

魚沼市
校務DX計画

令和7年3月31日

1. 校務DX計画

	現状分析・課題	解決策・想定スケジュール				
		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
学校における業務のデジタル化	保護者との欠席・遅刻・早退連絡を完全デジタル化している学校は1割程度、児童生徒への連絡をクラウドサービスを用いた配信で半分以上デジタル化している学校は2割程度である。	デジタル化の事例収集、活用方法検討	活用方法の情報発信			
学校設置者における業務のデジタル化	教育に関わる公文書のデジタル化に関する規程を定めていない。	学校事務指導票の改定について検討		県の新システムの導入に併せて新ワークフローで運用		
次世代の校務デジタル化に向けた環境整備	ネットワーク統合と汎用のクラウドツールの活用を前提とした、パブリッククラウド上で運用できる次世代型校務支援システムの具体的な導入時期を設定している。	県の新システム検討・設計	県の新システム導入・運用			
生成AIの校務での活用	一部の教職員（半分未満）が生成AIを校務で活用している学校の割合は、1割程度である。	生成AIについての事例収集、活用方法検討	活用方法の情報発信 活用研修会の開催			
クラウド環境を活用した校務DXの推進	教職員が校務用の端末を校外においてクラウドベースで利用できる環境を整えていない。	次期ネットワークの在り方検討			次期ネットワーク設計	ネットワークの最適化・運用
				次期ネットワーク構成に合わせた教員用端末の検討		次期教員用端末の配置・
Fax・押印の原則廃止、ペーパーレス化、不要な手入力作業の一扫	Faxを使用していない学校なし、保護者・外部とのやりとりで押印・署名がない学校なし、職員会議等の資料のペーパーレス化を実施している学校が2割程度である。	事例収集と解決策の検討	活用方法の情報発信			

2. 期待される効果

- 校務で利用する各種システムの活用により校務の効率化が進み、教育データを活用した児童生徒への指導や支援が充実します。
- ①統合型校務支援システムなど、校務で利用する各種システムの活用により、校務が効率化され、教員の校務事務が最適化しています。
- ②教員は、校務データや学習データ等の効率的・効果的な活用により、個々の児童生徒にきめ細かな指導や支援を行っています。
- 最適なネットワーク環境のもと児童生徒が1人1台端末を日常の様々な学びの場面で活用でき、また教員が1人1台端末で授業も校務も円滑に行うことができる環境が整備されています。
- ① 国の方針を踏まえ、校務系、学習系及び行政系ネットワークが最適化され、児童生徒にとっても教員にとっても授業や校務を円滑かつ安全に進めることができる通信環境が整っています。
- ② 児童生徒が学校や家庭など様々な学びの場面で1人1台端末を活用できる環境が整備されています。
- ③ 教員が持ち運びが容易な1人1台端末で授業や校務を円滑に行える環境が整備されています。
- ④ 学校では必要に応じ、専門的なソフトウェアを使用した学習等に対応するための機器・設備等が整備されています。
- ⑤ I C T 環境の変化に対応した教員研修を行うための機器・設備等が研修機関に整備されています。